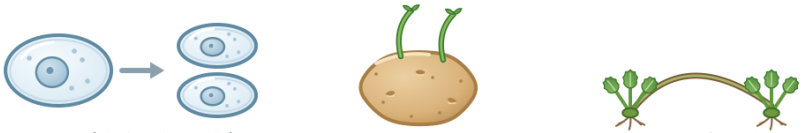
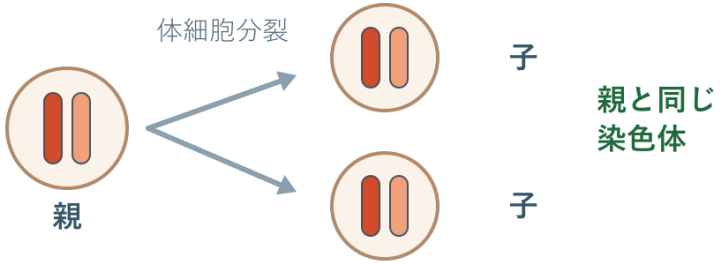
無性生殖と有性生殖

殖え方によって、子は親の染色体をどのように受け継ぐか

無性生殖（受精をしない）

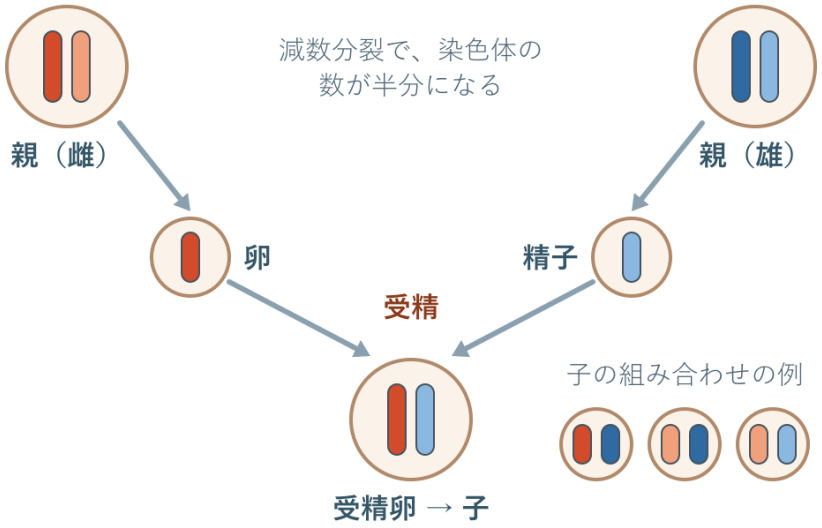


栄養生殖（体の一部から新しい個体ができる）



子は親と同じ染色体（遺伝子）を受け継ぐ。
→ 子の形質は、親と同じになる。

有性生殖（受精によって殖える）



子は両親から染色体を半分ずつ受け継ぐ。
→ 子の形質は、親と同じになるとは限らない。

生殖細胞（卵・精子、植物では卵細胞・精細胞）は、減数分裂でつくられ、染色体の数が体細胞の半分。
受精すると、受精卵の染色体の数は親の体細胞と同じになる。受精卵は体細胞分裂をくり返して子の体になる。

※ 染色体は1対（2本）だけを模式的にかいた。有性生殖では、赤系は雌の親、青系は雄の親から受け継いだ染色体を表す。